



<施設の概要>

上野原縄文の森 展示館
 所在地：鹿児島県国分市川内1376-1
 建築面積：2693.762㎡
 延床面積：3070.870㎡
 階数：地上2階
 構造：RC構造・一部S造、W造
 設計：佐藤・三反田・鎌田設計共同企業体
 施工：電気/今村電気株式会社
 竣工：平成14年3月

野原縄文の森 埋蔵文化財センター
 所在地：鹿児島県国分市川内1376-1
 建築面積：4502.535㎡
 延床面積：4999.637㎡
 階数：地上2階
 構造：RC構造・一部S造、W造
 設計：佐藤・三反田・鎌田設計共同企業体
 施工：電気/株式会社栗牧電設
 竣工：平成14年3月

暖色系光源の積極的な採用により、縄文世界にふさわしい神秘的な雰囲気演出。展示物の退色にも配慮。

遙かなる時空を超えて縄文の世界と向き合う施設

上野原縄文の森は、個性豊かな縄文文化が築かれた上野原の地に、上野原遺跡から出土した重要文化財などを展示する「上野原縄文の森展示館」、埋蔵文化財の調査研究・情報発信の拠点「県立埋蔵文化財センター」をはじめ、見学・体験のできる「展望の丘」、「古代家屋群」、「体験学習館」、「遺跡保存館」、「復元集落」、「地層観察館」などがあり、縄文の世界と向き合い、ふれあい、学び、楽しむ場を形成しています。

メイン施設となる展示館の吹き抜けホール「ソラの間・ウズの間」の照明は、ハロゲンランプ・スポットライトなど、電球色を基調とした暖色系の光源を積極的に採用。荘厳でダイナミックな建築物の広がりや奥行き感を演出して、神秘的な縄文世界のイメージを高めています。

展示ケースの照明には高効率・高演色の紫外線吸収膜付Hf蛍光ランプを使用。出土遺物への紫外線による退色の低減に配慮しつつ、Ra90以上を確保し、自然界の色合いを忠実に再現しています。また、壁面展示物に対しては水平面照度よりも鉛直面照度を、ケース内展示には鉛直面照度よりも水平面照度を重視し、見学者の視線方向に対して光の明暗(照度レベル)の高低差をバランスよく組み合わせることで、見学者の視線誘導を図りつつ、より良い視環境の創造を実現しています。

なお夜間のライトアップは、ハロゲンランプ・スポットライトの指向性ある光で木目を基調とした外観を際立たせると同時に、地を這うやわらかく暖かな光で神秘的な表情をつくり出し、通路や階段は光ファイバーによる足元照明で感動的な雰囲気を演出をしています。

照明コンセプト

Lighting design concept

紫外線吸収膜付Hf蛍光ランプにより出土遺物の退色低減に配慮。

光源・器具の特性を活かすことによる建築物を含めたトータルな視環境の向上



『上野原縄文の森展示館』の「和紙ドーム」：展示室入口の「和紙ドーム」は、暖色系のやわらかな光で包み「縄文の世界」のプロローグを演出



『上野原縄文の森展示館』の「ソラの間・ウズの間」：荘厳でダイナミックな造形物と暖色系光源とが巧みに融和し、迫力ある空間を創造



『上野原縄文の森展示館』の展示室：紫外線吸収膜付Hf蛍光ランプで退色の低減しつつ、自然界の色合いを忠実に再現



『県立埋蔵文化財センター』の回廊と中庭：温かみと誘導性のある回廊と地を這うシャープな光で誘目性を表現し神秘的な印象を与える中庭

主要照明器具一覧表

設置場所	器具名	台数	ランプ
ソラの間・ウズの間	スポットライト	40	130Wハロゲンランプ
展示室	ウォールウォッシャー	20	Hf蛍光ランプ(紫外線吸収膜付)
ライトアップ	スポットライト	22	130Wハロゲンランプ